

平代の友 壹

明治廿二年三月

桑名星學會

伊藤文庫

219

1

市立図書館蔵

月初會無題

都雪

三崎歸厚

きみかまのひふりもいまや宇つむらむみやこのそらもゆきのふりつ

山田治三郎

みやこよはゆきやいかよとひととははやへこのへのはなとこたへむ

千葉美胤

みやこよはゆきさむけれとどみくさのあきのたのみをつもるうれさ

加藤新一郎

はなくらハをりてかさむみやこよはゆきめつらさきとのあらゆき

久住亮昌

やまさとはいかよみるかはあらゆきのつゆれるのはなのみやこを

濱村可壽

みきおくるひらのやまかせさむけれとゆきよはなのみやこなりけり

岩崎帯之

はなとのみみやこのゆきははるあきのやまのよきよおくれさゆけり

鬼島廣就

ふりつものほとなきゆきもはなとのみみやこのひとハふかくめつらむ

鬼島嘉吉

ふりつものゆきもいとはをみやひとのゆき、まけきはみやこなりけり

伊藤縣道

はるならてはなのみやことなりよけりやなきさくらに つもるーらゆき

橋爪正表

はるまたてみやこおほちのさくらなな おもかけみせて つもるーらゆき

平野美純

みわたせばやなきさくら入 うつもれてみやこまふゆハゆきのーらたへ

中川清之

ゆきかひのーはみやこのまみかよのみちうつまぬけさのーらゆき

初會延筵當座探題

春氷

たにかせよとくれとまたもこほるあむるのひかきもあさなあさなは

美純

殘雪

はるまかくやまかきみようつもれてわつかよのころへのーらゆき

新一郎

梅風

うめのはなほひもふかきはるかさまのどけさちかくならむとをおもふ

美胤

子日友

うちつれてねのひのへにひくまつのまよかはらぬいろよみわけり

聯道

朝霞

あまのどハおほろなからまけやらそとおもふはふかきみなりけり

可壽

待露

はるかきみたつたのやまよたちよりまたるゝものはうくひまのころ

常之

餘寒

沿三郎

はるかせもまたさむければやまやまはなほしらたへのころもかさねつ

柳露

正表

つらぬけるたまごこそみれあをやまのいとをかすそふつゆのひかりき

春月

嘉古

はるもまたつきのなかめハさむけれとるめのまほひハうれーかりけり

山巖

廣就

おくやまもはるハわらひのゆわいててをりをりひとのとひこそハくれ

若葉

亮昌

のとかなるごころよつれてかすかハハひもあまたのわかなつむらむ

立春

歸厚

あつさゆみはなてうことこのうれーきハひとのこころはまつやたつらむ

早春

清之

あつさゆみのたねもつらむむらむてゆきまはるのいろハみ入けり

この歌はよごとくよとよはあらざめれさうひ
の人もあれバみやまかるくひとつよあつめて
活字よせむまたまとのかぎのほかなる人々にも
みせてわが國ぶりにとよにころきなくさめまじ
かばとおもふまにかくはものしつ

幹事

